

第6期中期経営計画・2020年度事業計画

2020年度は「深める」「広める」「高める」の3つの取組みを具体化し、「量から質への転換」を実現することで、当金庫にとつての「持続可能なビジネスモデル」をめざす第6期中期経営計画の最終年度にあたります。

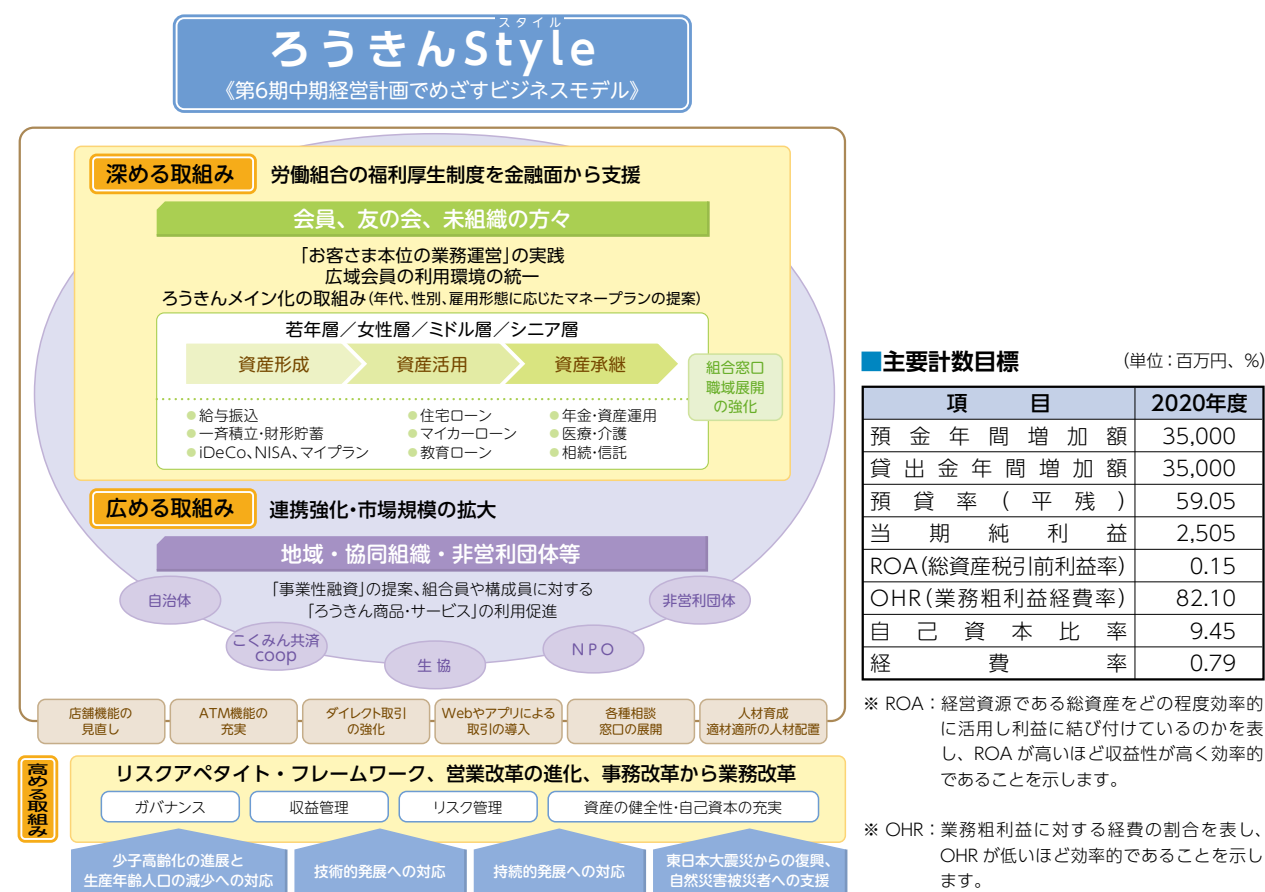
この間、会員・勤労者の皆様のご協力により預金・融資の業容拡大が図られる一方、貸出金利回りの低下や上乗せ金利定期預金の増加による預金金利回りの高止まり、さらには自己資本比率の低下など、「持続可能な収益性と将来にわたる健全性の確保」の点から改善が必要な状況にあります。

長期化する金融緩和政策や人口減少・高齢化の進展など、金融を取り巻く環境が依然厳しい状況の中、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により、経済情勢・雇用環境の長期的な停滞も懸念されております。

2020年度は「第6期中期経営計画」を基本としながらも、新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けた勤労者の皆様の生活・家計を支えることを最優先課題とし、「SDGsの目標達成に向けた具体策」「持続可能なビジネスモデル」の構築を通じて、協同組織の福祉金融機関として“ろうきん”の役割を一層発揮しながら経営基盤の強化をめざしてまいります。

私たちがめざすべき姿（ろうきん^{スタイル}）

第6期中期経営計画では、「深める」「広める」「高める」の〈3つの取組み〉により、持続可能なビジネスモデルの構築をめざしています。また、その実現・定着のため《4つのカテゴリー》に課題を整理し、具体的な取組みを引き続き実施してまいります。



「新型コロナウイルス感染拡大」に対応した取組み

- ① 勤労者の皆様の生活・家計を支援する取組み ② 感染拡大に備えた「業務継続計画」の徹底

2020年度事業計画 <4つのカテゴリー>における取組み

カテゴリー	テーマ
<1> 少子高齢化の進展と 生産年齢人口の減少への対応	①顧客属性に応じた商品・サービスの提案と生涯取引の実現 ②店舗機能、取引チャネルの充実 ③商品・サービス力の向上
<2> 技術的発展への対応	①RAF およびリスク管理高度化に基づく経営基盤の確立 ②業務改革の実践と金融テクノロジー「FinTech」への対応
<3> 持続的発展への対応	①会員、推進機構との連携強化 ②会員直接還元政策の実施による財務基盤の強化 ③地域共生に向けた取組み ④金庫人材の育成と活用 ⑤組織の活性化と組織力の向上 ⑥SDGs 達成に向けた取組み ⑦第7期中期経営計画の策定
<4> 東日本大震災からの復興、 自然災害被災者への支援	①東日本大震災からの復興 ②自然災害被災者への支援 ③災害への対応